

議 事 概 要 書

令和5年度第3回玉野市史編さん委員会 会議録

開 催 日 時	令和6年2月13日(火) 13:30~15:00
開 催 場 所	玉野市役所 特別会議室
出 席 委 員	市史編さん委員会委員 委員長他6名(欠席委員 1名)
傍 聴 の 可 否 (非公開の理由)	可
傍 聴 人 数	なし
審 議 概 要	<p>1 開会 2 議題 (1) <u>目次構成(案)</u> (事務局、委員説明)</p> <p>※修正提案箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3章第2節5の航路の表記 ・第4章第1節の2、母子福祉墓、子育て支援の項目に、放課後児童クラブを追記(第6章第1節、社会教育から移動。)、第5章第4節工業、その他の工業の産業分類の中分類と細分類を整理、第5章第5節の商業の1概況の項目、第6節観光の2観光資源の観光スポット、第6章第1節の2学校教育の項目、第6章第2節化の2文化財・史跡のうち国指定文化財の表記、第6章第2節文化の3民族文化で、食文化の括弧書き <p>事務局 第1章を原始から近世までとし、先土器時代を旧石器時代に改め、江戸時代を追記した。第2章は近代のみとして10ページ、第3章は現代とし戦後から昭和45年まで30ページを想定している。</p> <p>委 員 玉野市の公害について、新聞記事の切り抜きを参考にしてもらいたい。また、細目次に海洋博物館やベッドスクール、玉野まつり、玉野踊り、渋川海岸、マリンホテル、児島湾対策、演劇、文化協会、グリーンウォークの活動についても記述してはどうか。</p> <p>委 員 第6章第2節の文化の項目に文化協会を追加し、市の主権の洋画展、美術秀作展のことを記述してもらいたい。資料がなければ提供する。</p> <p>事務局 文化協会も含めて、委員から提案の項目は全部入れるようにする。例えば玉野まつりや玉野おどりは、どの項目がよいのか。「第5章、産業経済の第6節、観光」もしくは「第6章教育・文化の第2節文化の3民俗文化」のどちらが適切か。</p> <p>委 員 玉野踊りは今日まで続いているので、文化の方に入るのではないか。地踊りとして「カッカラカ」が踊られている。</p> <p>事務局 各地区の踊りは文化、玉野まつりはイベントなので観光が良いと思う。民俗文化の中で地踊りであるカッカラカについて記述をして</p>

	<p>かどうか。</p> <p>どこの市町村も迷うところであるが、戦後とか 1960 年、70 年代以降に地域おこしのために新しくできたお祭りや踊りは観光に入れて、戦前から地域に根付いていたようなお祭りや踊りは民俗に入れている。その原稿ができてから、項目を移すことも可能である。</p>
委員	港フェスティバルについてはどうか。
事務局	港フェスティバルは観光になると思う。
委員	伝統的な踊りについては、文化の、民族文化、イベント的なものについては、観光でよいと思う。
事務局	繊維工業とか観光業とか金属工業とか、細かく分けられるぐらいの分量があるのかどうか今のところ分からないので、変わってくる可能性はあると思う。
	塩業は造船業と同じぐらいクローズアップされてもよいと思う。歴史から言うと造船業より古くから営業をしていたので、大きい扱いにした方がよいと考える。
委員	工業について、玉野市には窯業で日本のベスト 10 に入るような会社もある。玉野市で自信の持てる産業だと言える。
事務局	観光スポットに王子が岳アルカディアリゾート計画も入れるイメージで考えている。
委員	観光スポットとして、渋川は松林の百選の中に選ばれている。また、王子が岳はパラライダーの聖地となっている。
事務局	王子が岳アルカディア計画やスペイン村構想など、いわゆるその負の遺産となった計画なども記述する方向でよいか。
委員	評価する必要はなく、そういう事実があったことを記述するのが市史である。
委員	王子が岳アルカディア計画やスペイン村構想については、第 3 編第 1 章第 2 節の市のビッグプロジェクトと重複するのではないか。
事務局	財政の項目では、いつ予算化されて、いつの段階で結果的に計画が終わったことを財政に寄せた記述になる。
事務局	今年度、学校規模の適正規模化の答申が出たので、その記述も必要と思う。
	基本、1970 年から 2020 年までの 50 年間の出来事を記述することが原則にしたいと思うが、必要と判断したものは 2020 年以降のことも記述すればよいと思う。
委員	海洋博物館は、どの細目次がよいのか
事務局	文化施設なのか観光施設によって細目次は異なる。
委員	半分が博物館、半分が水族館となっており、当時は文化施設として認識している。
事務局	元々は岡大の研究施設で、その施設を活用して市で博物館という形で整備したもので、予算としては博物館、所管としては観光施設となっている。そういう経緯も記述してはよいのではないか。
	細目次としては、観光スポットとする。
事務局	児島湖は、農業や下水道に関連があるが、細目次としては第 2 章第 2 節の公害問題と考えるう。
委員	玉野市は、砂防工事を一大事業として行ってきたが、細目次としてはどこになるのか。

事務局 既刊の市史で、植林事業とか砂防事業について記述がある。前回の市史を見ると大体昭和 20 年ぐらいからずっと事業をしている。本来土木事業の 1 つと思われ、第三章の社会基盤の整備に入る。特に 1 項目設けるほどの内容やボリュームがなければ、例えば、防災に関連した施設であれば防災の項目で紹介してはどうか。

既刊の市史をみると、治山事業について、昭和 44 年頃に山は緑に覆われ、雨による出水の心配も後を絶ったと記述されているので、その頃に事業としては締めはしてある。。その後、継続的に治山事業は実施している。環境保全のところで紹介してはどうかと考える。

本日の意見等を踏まえ、今の段階で細目次を訂正し、原稿案を出した段階で、細目次の訂正、加除すればよい。

第 3 編については、入れた方がよいものと不要なものが出てくると思うので、原稿案が出来た段階でチェックしていただきたい。

(2) 巻末の年表原稿 (案)

事務局 市史本編は 1970 年から 2020 年までとしているが、年表ももう少し新しいところまで反映させる考え方もあるので、確認したい。

既刊の市史は昭和 45 年刊行で、本文は昭和 40 年頃、年表は昭和 45 年までを反映している。今回は発刊が令和 8 年なのでその直前までした昭和 45 年までなので、令和 8 年までとしても良いと思う。

委員 歴代市長のうち、藤原市長が抜けていると思うがどうか。

委員 昭和 36 年 10 月 30 日から昭和 40 年 10 月 28 日まで務めている。太田市長の後が藤原市長で、その次が井上市長となっている。そのため、今回の年表には入らない。

委員 市町村史を作るときは、新聞記事や切り抜きなど資料を集めるのが基本である。広報たまのを見ていない部分、少なくとも昭和 45 年から 50 年までは図書館書庫にある新聞を確認した方がよい。

事務局 新聞記事の切り抜きみたいなものがあれば、原稿と年表作成の参考にしたいので、提供いただけたら有り難い。

山陽新聞の玉野圏や、全県版については玉野市に関する情報が載っているものだけを出す方法もある。あとは昭和 45 年以降の新聞が残っているかどうかである。

事務局 年表は月まで日にちは入っていない。例えば、玉野市の出来事の中で、日にちが結構意味があるため、年月日まで入れた方が出来事があれば、個別に判断したいと思うがどうか。

委員 専門分野については、それぞれ日にちまで把握できると、公なもの分らない。

事務局 掲載する出来事案を全て出していただいた上で、全体的なバランスを考えて事業者で取捨選択するか、全部載せた上で編さん委員会で取捨選択するのとどちらがよいか。

委員 全部出てきたものを入れてしまうの方が良いのではないかと。箱物とか、大きな事件、政策的な転換とか、そういうのがあれば良いと思う。

ぎょうせい 条例については、国の方針に伴うものや玉野市独自のものがあり、どこまで入れる悩むところである。また条例改正をした時がよいのか、条例が施行される時はよいのか。例えば、ごみの有料

	<p>化をした条例など、市政の動きとしてはトピックスになるものは入れた方が良くと思う。年表には例えばゴミ有料化の場合、条例制定後、周知期間を終えてゴミ有料化を施行した時がよいと思う。個別に判断するしかない。</p> <p>(3) 資料一覧</p> <p>事務局 各種計画については、2000年以降のものはかなり揃っているが、それ以前のもの手薄となっている。例えば、老人福祉計画や高齢者福祉計画、介護保険事業計画の前の1970年代80年代ぐらいのものが少ない。他の分野の計画についても1970年代80年代の資料があれば有り難い。</p> <p>委員 資料は2000年以降が多い。古い時代のもの少ないと思った。古い時代のをまた見つけないといけない、</p> <p>委員 玉野市がスポーツ王国と言われた変革に関する資料が入っているのか。</p> <p>レクレーションやスポーツセンター、玉原運動公園ができたのも玉野市としてスポーツに力を入れてきた結果だと思う。陸上競技場、テニス場、野球場など、当時は県下他市にはないぐらい整備したのが玉野市であり、そういう沿革は大切だと思う。</p> <p>事務局 確認してみないと分からないが、玉野市のスポーツ振興政策に関する資料は無かったと思う。</p> <p>委員 山陽新聞玉野圏版とか全県版で、そういう動きは把握できたりするのではないか。その中で掘り下げたいところがあれば関係団体に資料提供をお願いしてみてもどうか。先程の条例や公害の話、市民活動なども歴史として入れてもらいたい。</p> <p>事務局 単なる行政史ではなく、市民みんなの歴史という部分もぜひ入れたい。</p> <p>委員 婦人会などが手作り石鹸の活動をしたこともある。</p> <p>事務局 次の編さん委員会の時は、例えば1章分とかの原稿案を提案できると思う。</p> <p>3 その他</p> <p>事務局 令和6年度第1回編さん委員会は、令和6年7月に開催予定とする。</p> <p>4 閉会</p>
特記事項	無
事務局	玉野市教育委員会社会教育課 電話 0863-32-5577 FAX 0863-32-1329